

対象：大企業（工場・倉庫・店舗保有）の経営層・財務責任者・施設管理責任者様

「守る建物」から、「価値を生む建物」へ。

<省エネダブルプラン>

最重要；屋根遮熱・断熱コーティング
+サブ；窓ガラス遮熱コーティング



省エネしながら資産価値を守る、これからの建物戦略



株式会社スケッチ
ビジネスマネジメント

不確実な時代を勝ち残るための、4つの複合的な経営課題。

20年後の状況を予測できない



01 経済安全保障

脱炭素単独から、エネルギー安全保障とのセットへ。
CO2削減と電力安定確保を同時実現する“安全保障投資”。



02 紛争・地政学リスク

ウクライナ・中東情勢・円安・エネルギー供給の不確実性。
物流の停滞。自前の省エネを持つ建物が強い。



03 電気料金高騰

燃料調整費・再エネ賦課金が重荷に。
削減幅そのものが「収益」化する時代。
電気料金の上振れリスクは継続。コスト見通しが立てにくい。



04 建物の長寿命化

工事費は年々上昇。先送りするほど同じ修繕の単価が上がる。
「待てば安くなる」前提が崩れ、先送り＝コスト増に直結。
LCCの観点から20年以上の超耐候性

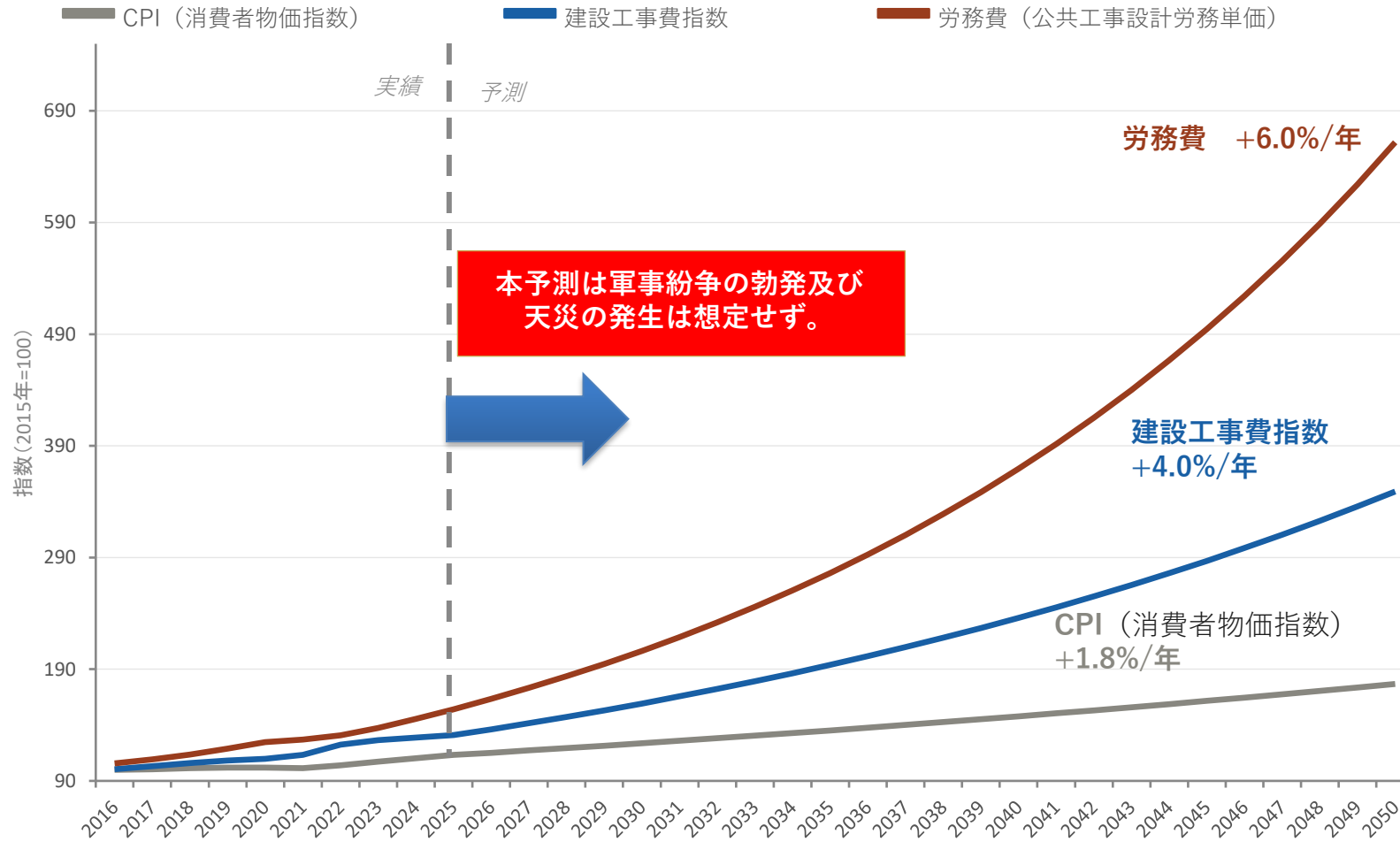
修繕・設備投資の先送りは、それ自体が「見えない大きな出費」となる時代に入っている。


設備保護の遅滞は、単なる修繕費の増大に留まらず、本業の事業基盤そのものを毀損する。


コストは上がり続ける：2050年までの予測【単一シナリオ】


CPIは穏当な前提でも、建設工事費と労務費は構造的に高騰し続ける。一般物価との乖離（かいり）は不可逆的に拡大する。

出典：総務省統計局／国土交通省「建設工事費デフレーター」「公共工事設計労務単価（2025年度／13年連続上昇）」



 **労務費 (+6.0%/年)**：残業規制と人口動態から需給逼迫が継続。

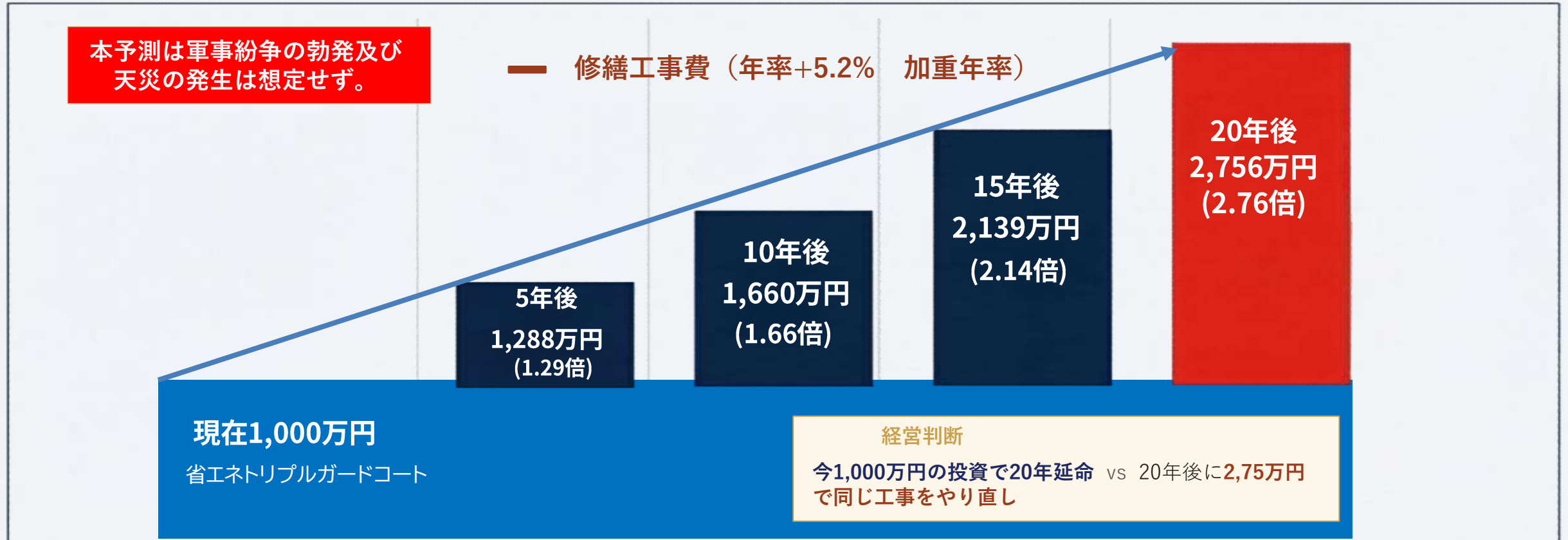
 **建設工事費 (+4.0%/年)**：高度成長期インフラの補修需要・国土強靱化により需要超過が長期化。

 **CPI (+1.8%/年)**：日銀の物価安定目標を下回る穏当な値でもインフレは継続。

 **チェーン店など多店舗企業ほど、長期になるほど大幅な予算のズレが発生します。（※軍事紛争・天災は想定せず）**

今の1,000万円の工事、20年後にはいくらになるのか？

外装塗装等の修繕工事は「労務費比率が約6割」と高いため、インフレの直撃を受けます。



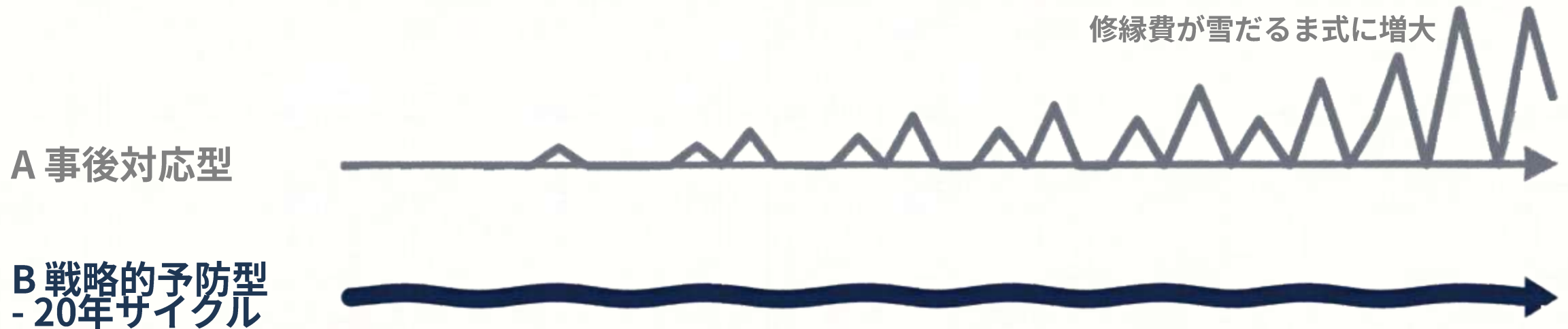
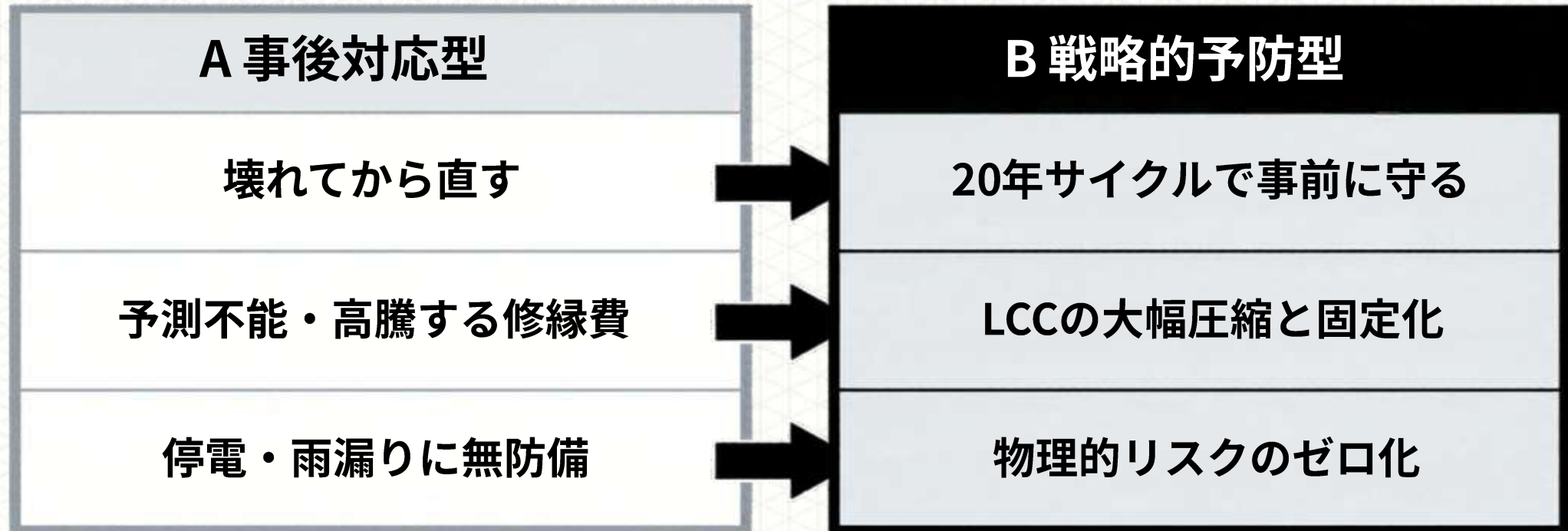
Executive Decision Matrix

✓ 今1,000万円の投資で
建物を20年延命する

VS

✗ 20年後に2,756万円で
同じ工事をやり直す

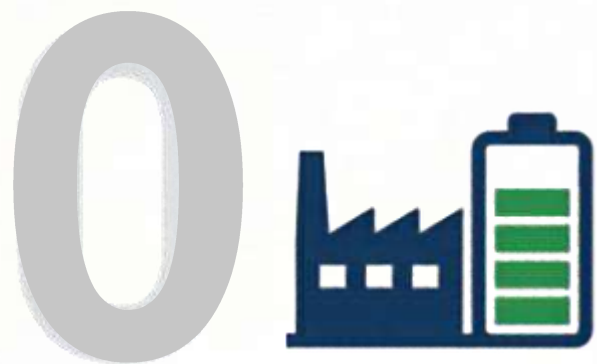
維持管理方針の転換：「事後対応」から「戦略的予防」へ



BCP強靱化と労働環境改善を、LCC圧縮と同時に実現

<省エネダブルプラン>は、株主・取引先・従業員が注視する経営指標を向上させます。

本製品の導入は、事業継続力（BCP）の強化と労働環境の改善を、ランニングコスト削減と同時に実現します。



物理的リスクゼロ化

BCPの強靱化

事業を“止めない”物理基盤。
蓄電池併用で停電時も操業継続。
商品損失と納品責任を死守。



労働環境改善

人が働きやすい職場へ

避熱・断熱で工場・倉庫内の体感温度を
低減。極暑下での離脱を防ぎ、採用コスト
・定着率（人的資本経営KPI）を改善。



修繕回数 1/2

LCCの劇的圧縮

20年超サイクルへの延長で、
将来の高騰する修繕回数を半減以下に
キャッシュフロー流出を最小化。

業種・施設ごとの戦略的価値の最大化



倉庫・物流

LCC圧縮と労働環境改善

巨大な番熱体となる折板屋根を遮熱。

「人が辞めない、働きやすい建物へ」

- 夏季の体感温度を低減
- 人手不足時代の“選ばれる職場”



チェーン店・店舗

省エネと労働環境改善

遮熱・断熱対策による圧倒的な空調負荷を大幅削減。



病院・医療施設

BCP対策とコスト削減

遮熱・断熱対策による圧倒的な空調負荷を大幅削減。

「停電・空調停止は、人命と商品の同時損失に直結」



データセンター

熱負荷低減とBCP対策

サーバー停止に直結する熱暴走リスクを屋根・窓から遠断。莫大な冷却エネルギーのコストダウンを実現。

経営判断:「事後対応」から「戦略的予防」への完全シフト。

建物長期寿命化&省エネ対策 省エネダブルプラン



2 窓: ガラス遮熱コーティング

日射熱の侵入を徹底カット。
室内の快適性を担拠。

1 屋根: トリプルガードコート

空調負荷を割的に軽減し、
屋根からの熱をシャットアウト
20年間の耐候性を実現。

「守り(コーティング)」で基礎を固め、無駄のない強密な投資構造を完成させる。

建物長期寿命化&省エネ対策：「省エネダブルプラン」

最重要；屋根からの対策：「省エネトリプルガードコート」

+

サブ；窓からの対策：「省エネガラスコート」

脂肪族ポリウレアによる20年の超耐候性と多重防護構造により、建物の寿命を最大化し、物理的劣化を根本から遮断する。

建物の熱の出入りの50%以上を占める窓ガラスの遮熱・断熱対策が省エネ対策の最適商品。

1 確実な資産保護（10年保証）

ラストシールド（防錆層）と防水ポリウレアの多重構造。

防汚コート層

2 超耐候性（20年サイクル）

紫外線に極めて強い「脂肪族ポリウレア」を採用。
10年ごとの塗り替え頻度を半減。

20年耐候性遮熱層

3 業界最高水準の断熱性

中空ビーズ含有率60%の特殊層で外部の熱変動を遮断。

中空ビーズ断熱層

4 遮熱・防汚機能の永続性

独自の防汚コートが汚れによる機能低下を防止。
施工時の高い日射反射率を長期持続。

防水ポリウレア層

防錆層



1

窓からの遮熱・断熱・UVカット対策（10年再施工保証）

建物の熱の出入りは。夏は、窓から73%が入り、冬は、窓から58%が逃げる。

2

超耐候性（15年以上の耐候性）

現在世界中に130万㎡の施工実績
15年以上でもUVカット95%前後
日本国内シェア80%～

3

業界最高水準の断熱性

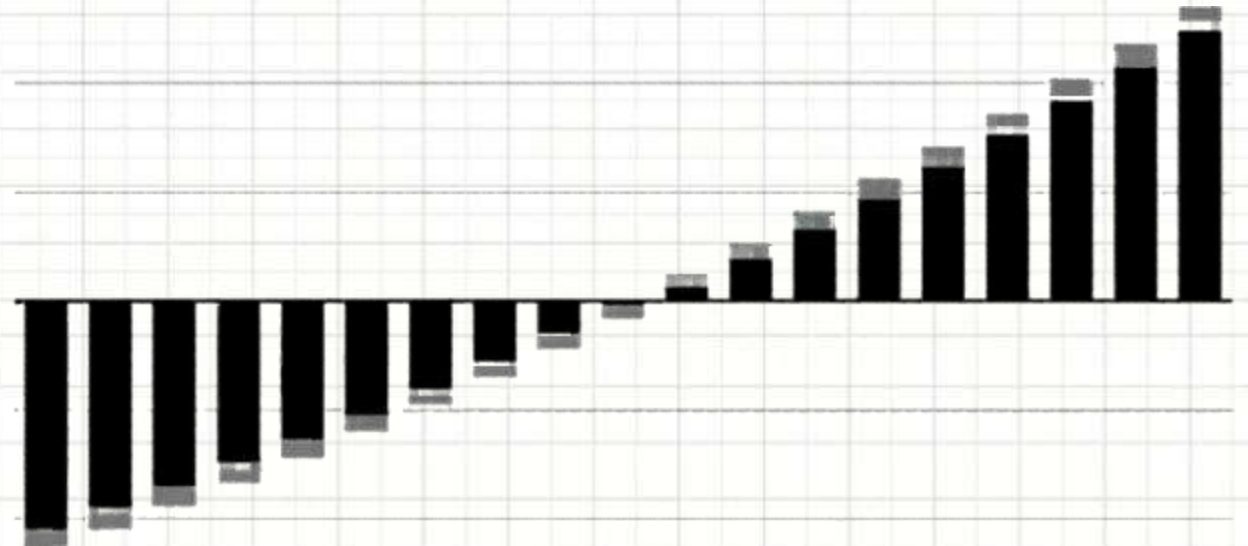
遮熱性の近赤外線カット90%以上は業界NO1
LOW-Eガラスよりも遮熱性能は高い

20年～建物超寿命化による10年前後の償却

省エネ率

30%

窓＋屋根コーティングによる
空調負荷の低減効果



- 10年前後で回収可能
- 月々の電気代削減額で支払いを相殺
- ESG評価や補助金採択は「ボーナス」としてさらなる短縮に寄与

The Strategic Blueprint

メイン(屋根)；圧倒的なパフォーマンスを生む、
省エネトリプルガードコート4つの機能。



1. 確実な資産保護

ラストシールド（防さび層）と防水ポリウレアの多重構造による「10年防さび保証」。



2. 超耐候性

紫外線に強い脂肪族ポリウレアにより、10年ごとの塗り替え頻度を半減する「20年サイクル」の実現。



3. 業界最高水準の断熱性

中空ビーズ含合率60%の特殊層が、過酷な外部の熱変動をシャットアウト。



4. 遮熱・防汚の永続性

独自の防汚コートが遮熱性能維持、施工時の高い日射反射率を長期にわたり持続。

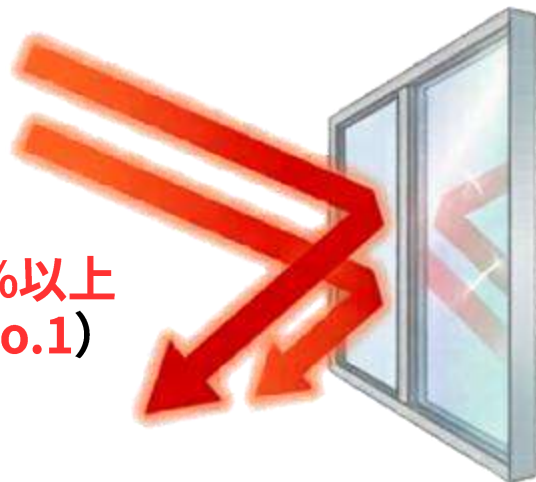
サブ対策（窓）：省エネガラスコート

建物の熱の出入りの50%以上を占める窓ガラスを最適化（10年再施工保証）



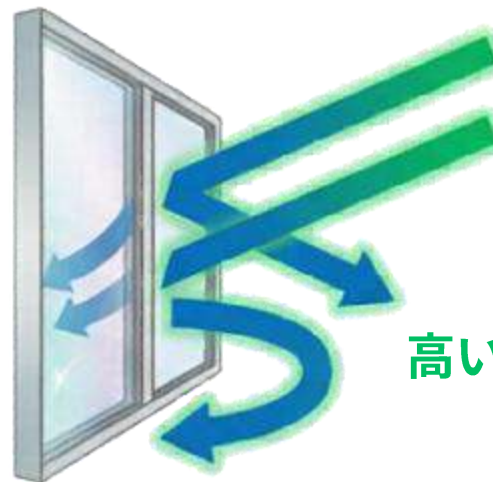
夏: 窓から「73%」の熱が入る

近赤外線を90%以上
カット（業界No.1）



冬: 窓から「58%」の熱が逃げる

高い断熱性で室温を保持



超耐候性（15年以上でもUVカット95%前後）



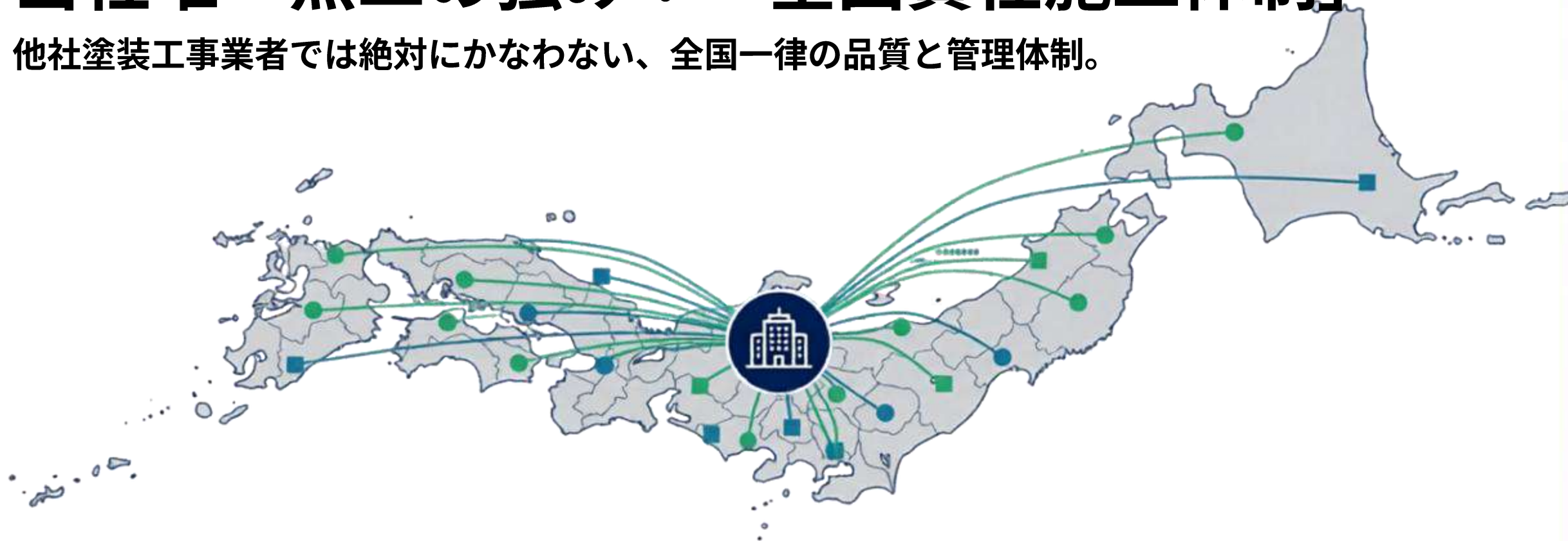
LOW-Eガラスを
凌駕する遮熱性能



国内シェア80%～、
世界130万㎡の圧倒的施工実績

当社唯一無二の強み：「全国責任施工体制」

他社塗装工事業者では絶対になわかない、全国一律の品質と管理体制。



① 全国一括窓口

担当者様の管理工数を創的に削減。

② メーカー直販・直接管理

妥協のない最高品質の施力。

③ メーカー認定施工店 ネットワーク

全国どこでも同じ品質、同じ保証。

長寿命化は、最高の「経営戦略」である。

「老朽化による建て替え」の時代は終わりました。今すぐ、価値を守る決断を。



用語集 (Appendix)



LCC (ライフサイクルコスト)

建護から維持・修繕・解体までの生涯費用の合計。本プランで劇的に圧縮する対象。



ESG

環境・社会・企業統治の観点で企業を評価する指標。



Scope 1 / Scope 2

企業の事業活動による温室効果ガス排出の国際基準。創エネ・省エネで直接貢献。



BCP (事業継続計画)

災害等の緊急事態における事業継続計画。蓄電池併用と物理的リスク低減で強靱化。



PPA (自家消費型)

屋根を貸して太陽光発電設備を第三者が設置・運用し、発電した電気をその場で購入する仕組み。